http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

3月号　　第２１１号
発行日　平成２１年3月1日（日）
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　八王子市久保山町１－１４－３
ＴＥＬ　（０４２）６９１－１１０５
発行人・勝山　恭男
編集者・杉渕　清

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

碁楽連だよりは交流の場

碁楽連理事　　磯部　信広

毎月発行される「碁楽連だより」が現在 210 号を重ねている。この碁楽連だよりは各種大会の案内、その結果の周知、役員の人事関係、理事会などの会議の情報を提供しています。他に、「同好会だより」や「投稿」などにより会員間の交流の場としての役割が強くなっているように思う。最近の投稿では良寛和尚の生い立ちや生き様の話や、囲碁放浪記と題する南海の捕鯨船甲板上での囲碁対局の様子とか、北京オリンピック直後のオリンピックにまつわる川柳や、また終戦直後の旧満州国からの苦難の末の引き揚げ事情とか、囲碁の別称など心に伝わる内容のものが数多く寄せられ、「碁楽連だより」の発行が楽しみになったのではないでしょうか。

碁楽連の会員は現在 60 歳以上の方で 410 名を超えています。大半の方々は大戦や、物のない不自由な生活を体験され、そうした中で人生についての考え、囲碁に関する思いとか囲碁との関わりなどそれぞれの方が貴重な経験をされていると思います。こうした思いなどを出来るだけ多くの会員がこの碁楽連だよりに寄せていただき、今後の会員相互の心の糧としていただければと念じています。そして夢ですが、碁楽連が 30 周年、40 周年を迎えたときに記念文集にまとめられれば先人の「想い」が伝わってくるのではないかと思います。最後に、私ども（勝山会長、石田理事）は 3 月を以って退任しますが、今後ともよろしくお願いします。ご協力、ご鞭撻ありがとうございました。

第１６回　タイトル囲碁大会の結果

平成21年2月15日開催

参加者数　　64名

名人戦　21名

　優勝　相馬康三7段／由井

王座戦　21名

　優勝　高本　衞7段／台町

天狗戦　22名

　優勝　杉渕　清5段／由木　　6段に昇格

平成 21 年度定例総会の予告

日時：平成 21 年 3 月 15 日　午前 9 時～11 時 45 分
　　従来は 4 月に行われることが多かった総会が、今年は
　　3 月開催となります。

会場：東淺川保健福祉センター4 階第６、７集会室
　　（東淺川５５１－１、電話：667－1331）

出席予定者：碁楽連会長、碁楽連理事、各地区寿同好会会長　他
議題：事業報告、決算報告、予算　他

今年度の公式の囲碁大会は、２月のタイトル戦を最後に、（研修部を除いて）終了しました。紙幅の関係で最終ページになりましたが、今年度の昇格者の一覧を載せました。研修部関係は日程が終了次第まとめるつもりです。
二段跳びの方もおられて、普段の精進がしのばれます。

たまけました　　同好会だより

由木寿囲碁同好会　　Ｋ．Ｙ．

何年前のことだったか、若い頃職場で碁の打ち方を手ほどきしてくれた先輩から「一番どうだ」と電話がかかってきた。こちらも完全定年で、年金暮らしも板につき少々退屈気味だったので渡りに舟、早速世田谷のお宅まで出かけ、囲碁ばかりでなく一杯やり昔話も楽しんできた。

昔は井目から六子で教えてくれた師匠でもある彼から、上手くなったと煽てられたこともあって熱が入り、家に帰ってから初、中級の詰碁の勉強もしてみた。初級は何とか読みきったが中級の方は今でも途中に栞が挟まったままだ。

このところ年に何回かお互いの家を訪れ＜たえしたもんだよカエルのしょうべん＞＜恐れ入谷の鬼子母神＞＜たまけました＞などと軽口をたたきながら、ヘボ碁を中心に交流が続いている。こうして旧交を温められるのも囲碁を教えていただいたお陰と感謝し、これが無かったらさぞや退屈な毎日を送ることになっていたことだろうと思っている次第である。

＜中国の麗江を旅行中のスナップ。川辺の縁台でこども達が碁を打っていた。私もせせらぎの音を聞きながら、中国人と二戦し、一勝一敗。一勝の方は外国人ということで花を持たせてくれたようです。楽しかった。＞

去年の春、彼の所を訪れたとき家の雰囲気が変わっているように感じたので、訊いてみると息子夫婦が東京に転勤するのを機に、代々使ってきた大きな家を取り壊し、プレハブで新築、同居することになったのだという。そのための片付け、下準備が始まっていたようだ。話では姉歯の偽装事件があったとき、気になっていたので無料診断を受けてみたら、以前農家だった彼の家はいまの基準をクリアしておらず補強が必須と判定されたそうだ。

我が家も心配になったので業者に診て貰った。結果は耐震基準 1.0 必要なところがなんと 0.4 と出た。これでは大きな地震が来ると倒壊の恐れありという。

晴天の霹靂、蓄えもないので一部業者の手を借り、後は自分で補強する羽目となった。この三ヶ月日曜大工の明け暮れ、先月やっと終了。気づいたら碁のほうは 3 段格から初段格になっていた。

囲碁歴５０年を迎えて　　同好会だより

長房寿囲碁同好会　　塚原　和利

私が囲碁を覚えたのは会社に入社して間もなくの２３歳のときであった。その頃は囲碁に興味があったわけではなかったが、上司に誘われたのを機に囲碁の世界に足を踏み入れた。

はじめは上司に７子置いて、囲碁の手解きを受けていたが、毎日昼休み時間中、囲碁を打っているうちに、いつかは上司と対等に、さらには上司を上回りたいと考えるようになっていった。幸にして私は囲碁を打つ環境に恵まれており、身近にはそこそこ実力を持っていた父がおり、また職場においても同業社との団体戦、個人戦も非常に盛んに行われており、いくつもの試合に参加していた。さらに会社内の囲碁部では、毎週土曜日の午後、当時プロ初段の小川知子氏を講師として迎え、指導を受けるという幸運にも恵まれた。このような好環境の下、私は囲碁を打つ楽しさを覚えていき、それと同時に実力面においても成長していき、５年後には初段から３段へと昇段した。

この頃、私は２年連続で同業社間での個人戦で優勝しており、いささか有頂天になっていた時期であったが、このような中、同じ会社の囲碁部で、実力を上げてきていた後輩がいた。当初は,彼に４子置かせて囲碁を打っていたが、時を追うにつれ、互い戦まで接近されるようになっていき、勝ったり負けたりの対局で休日など徹夜になることもよくあった。最終的には彼に白石を渡し、さらに２子置いての対局まできてしまい、逆の立場となってしまった。

私の囲碁歴は今年で５０年となる。そして悔しい思いをしつつ、必死に無我夢中で囲碁を打った碁敵であるその後輩とは、今も月に１回は囲碁を打っている。相変わらず彼には白石を渡している状態ではあるが、彼から白石を奪うことを目標に、日々努力している毎日である。

“摺針式と松田式”　組合せ･順位付けソフト　　同好会だより

川口寿囲碁同好会　　廣島　松治

摺針峠は彦根城下に程近い旧中山道にある。その昔、修行僧がこの峠にさしかかったとき、老婆が石で斧を磨ぐのに出会う。聞くと、一本しかなかった大切な針を折ってしまったので、こうして斧を磨いて針にするという。ここでハッと悟った修行僧（の

ちの弘法大師）は自分の未熟さを恥じ修行に励んだと言い伝えられている。後日、ここに来た大師が詠んだといわれる詩があり、この峠の名もこれに因んでつけられたようである。

“道はなほ学ぶることの難（かた）からむ　斧を針とせし人もこそあれ”

何故「摺針峠」なのか？　実は「摺針峠」はハンドルネームで、スイス方式による囲碁の対戦相手組合せプログラムを開発した滋賀県の高校の先生がいる。このプログラムを作る過程で何回も挫折しようとしたが、同じ滋賀出身の小倉遊亀画伯の「摺針峠」の絵をこよなく愛されている方で、これを支えに最後まで“投了”せずに完成されたと伺った。

囲碁もさることながら、何事もこれを教訓とし研鑽・努力しなければならないものであろう。

さて、私は囲碁大会が役員も対局しながら運営ができないものかと常々考えていた。

対局者			1回戦		2回戦		3回戦		4回戦		5回戦		勝ち数	得点	総得点	順位
番号	氏名	段級位	相手	勝敗	相手	勝敗	相手	勝敗	相手	勝敗	相手	勝敗				
1	東京太郎	7	3	1	2	1	4	1	7	1	8	1	5	15	66	1
2	神奈川元	6	7	1	1		6	1	8	1	9	1	4	14	64	2
3	埼玉次郎	5	1		7	1	9	1	4	1	10	1	4	13	67	3
4	千葉三郎	4	10	1	11	1	1		3		5	1	3	14	60	5
5	山梨四郎	3	11	1	12	1	10	1	6	1	4		4	7	64	4
6	栃木五郎	2	9	1	8	1	2		5		12	1	3	12	58	6
7	京都花子	1	2		3		12	1	1		11	1	2	13	67	7
8	大阪松子	-1	12	1	6		11	1	2		1		2	12	66	8
9	滋賀竹子	-2	6		10	1	3		12	1	2		2	12	65	9
10	和歌山梅	-3	4		9		5		11	1	3		1	13	58	10
11	三重葉子	-4	5		4		8		10		7		0	12	59	12
12	愛知桐子	-5	8		5		7		9		6		0	13	56	11

＜松田式　予め組合せをしておく「1」を入力し順位決定＞

前回、碁楽連だよりに松田礼治さんの組合せプログラム（以下　松田式という）は大会運営者にとって非常に便利で、役員も対局を楽しみながら世話ができ、長年活用させてもらっているということを紹介した。この松田式は組合せ段階ではスイス方式でなく、予め４回戦なり５回戦を組合せておくのである。予め組合せが決まっているので対局が終わった者は待つことなく次の対局に進むことができて大会はスピーディ・スムーズに進捗する。勝敗欄に勝者「１」の数字入力は、その都度でなく全対局が終わってからでもよいが、最終的にはスイス方式による計算で瞬時に順位が決められる（時間はかかるが手作業でも可能）。この場合、会場に「組合せ表」を貼り出しておけばよく、対局者はその組合せ表

番号順に並べ替える

登録番号	氏名	段級位	座席番号	1回戦 相手番号	勝敗	2回戦 相手番号	勝敗	3回戦 相手番号	勝敗	4回戦 相手番号	勝敗	5回戦 相手番号	勝敗
1	東京太郎	7	1	2	1	3	1	5	1	9	1	7	
7	京都花子	1	1	8	1	5		10	1	11	1	1	
3	埼玉次郎	5	2	4	1	1		6	1	5	1	9	
9	滋賀竹子	-2	2	10	1	11	1	2	1	1		3	
2	神奈川元	6	3	1		4	1	9		6	1	5	
5	山梨四郎	3	3	6	1	7	1	1		3		2	
8	大阪松子	-1	4	7		6		12	1	10	1	4	
4	千葉三郎	4	4	3		2		11		12	1	8	
10	和歌山梅	-3	5	9		12	1	7		8		11	
11	三重葉子	-4	5	12	1	9		4	1	7		10	
12	愛知桐子	-5	6	11		10		8		4		6	
6	栃木五郎	2	6	5		8	1	3		2		12	
13	（見学者）		7										

＜摺針式　回毎に「1」を入力後組合せる。手作業が必要＞

に従って対戦相手（番号のみ・氏名は非表示）と対局し、勝敗結果は対局者自身で記入する。

なお、松田式は、例えばＢクラスを１２名で区切るのでなくＡクラス、Ｃクラスも併せて１つの組合せ表で管理するもので、３段は下のクラスばかりでなく上のクラスの４段、５段とも対戦できる組み合わせが可能である。また、置石は２子以内ぐらいの範囲で対局できるように組合せができるのが特徴である。さらに、対局終了後クラス分けしてクラス毎に表彰することも可能である。

摺針峠（以下　摺針式という）さんのプログラムは組合せ段階からスイス方式で、２回戦には１勝者同士、３回戦には２勝者同士というふうにパソコンが組合せをしてくれる。回戦毎に勝敗欄の勝者「１」を入力し次の組合せをする作業は役員が行わなければならないが、それほど時間はかからない。順位の決定は松田式と同様、瞬時に行われる。

この摺針式においても、回戦毎の組合せ表ができた時点で印刷し会場に貼り出せば、個人別の対局表などは不要で、対戦相手（氏名及び座席番号が表示される）は容易に判明し即座に対局が開始できる。勝敗結果も対局者自身が記入するのは松田式と同様である。

このような摺針式及び松田式の組合せ・順位ソフトを活用すればそれほど役員の手を煩わせずに大会運営ができるのではないか。碁楽連の数多い大会に徐々にでもこれらの方式を採り入れて行ったらどうか。ＩＴの活用は時代の趨勢であり、要請でもあると思う。

参考

摺針式　http://www.geocities.jp/swisssystem/

松田式　http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/　碁楽連ホームページ

貴重なご提案有難うございました。昨年の市民大会（スイス方式）でも採用を議論したのですが、見送られました。市民大会は、参加が予約制でないため、受付と入力作業を同時にやる必要があり、PC に慣れていないと混乱することを危惧したためです。しかし碁楽連はすべて予約制ですので、この点はクリアされます。いろいろ他にも検討すべき点があると思いますが、検討の価値はあるのではないでしょうか。（杉渕）

第１０回碁楽連理事会報告

日　時　　平成２１年１月 24 日(土)　9:00～11:30、

場　所　　東浅川保健福祉センター　4 階第 2 会議室

出席者　　勝山、磯部、石田、渋谷、杉渕、斎藤　6 人

議案及び審議内容

1　第１０回棋聖大賞囲碁大会（１月１８日開催）の総括

対局の組み換え作業に不手際があったことが指摘された。

2　後援名義使用申請及び会場使用特認申請について(報告)

・平成２１年度における本部主管の２囲碁大会(3 段以上、2 段以下)、棋聖大賞大会、タイトル囲碁大会及び 12 地区囲碁大会の後援名義使用申請を八王子市、八王子市教育委員会及び日本棋院あてに行ない、すべて承認された。

・平成２１年度１２地区活きいき囲碁大会の会場使用の特認申請を行い、すべて承認された。各同好会で市民センターに使用手続きを行うこと。

3　平成２１年度定例総会の開催について

・２ページに案内したとおり。

4『碁楽連 20 年史』の贈呈先について

・市関係、文化団体等へ贈呈する。　磯部理事が担当する。

5　検討課題について

1）賞状の名義

名義拡大の意見も出ていたが、事務の煩雑さを勘案し以下のように従来どおりとする

①　活きいき囲碁地区大会は、主催同好会会長及び碁楽連会長の連名とする。

②　本部主催の碁楽連囲碁大会、棋聖大賞大会及びタイトル囲碁大会は、碁楽連会長及び日本棋院理事長の連名とする。

2）初心者教室の担当者

初心者教室を継続し、担当者に真辺保幸、端山昌夫の両氏を依頼する。

6　日程について

3 月 15 日(日)　定例総会

3 月 21 日(土)　研修部囲碁大会、競技委員として磯辺、渋谷、杉渕理事が出席。

3 月 28 日(土)　理事会及び納会

編集後記

冒頭の写真は花鳥風月で飾りたいところですが、この季節は正に冬枯れ、そこで長池公園の雑木林となりました。

平成２０年度昇格者（研修部関連は次の機会に報告する予定）

	地区同好会	氏名	昇段段位	昇格をきめた大会等			
				活きいき大会	地区団体対抗	記念大会	タイトル大会
１	浅川	吉田　旭	７段			○	
２		小黒　尚	５段	浅川			
３		池田　悟	４段	北野			
４	恩方	山崎　稔	４段	長房			
５		池田清吾	４段		○		
６		横嶋清次	２段	恩方			
７		青木岩三	２段	台町			
８		阿部　惺	１級	元八			
９	元八	高橋重二	４段			○	
１０		山崎　臣	３段			○	
１１	中野	宮崎誠一	４段	中野			
１２		浜中武夫	２段		○		
１３	大和田	岩松　清	４段	由木			
１４		佐藤久雄	２段	石川			
１５	石川	中村順二	５段			○	
１６		大山芳雄	４段	大和田			
１７		石川幌二	４段	中野、石川			
１８		田村　強	３段	大和田			
１９	由井	岸本　哲	初段	由井			
２０	台町	塩津　浩	６段	長房			
２１		大塚　宏	４段	台町			
２２		本橋　茂	２段			○	
２３	由木	杉渕　清	６段				○
２４		長島健治	１級	大和田			
２５		桑田明典	３級	由木			
２６	北野	亀谷一郎	６段	北野			
２７		植木正芳	３段	浅川			
２８		平田弘一	３段		○		
２９		中岡　誠	２段	長房			
３０		平佐田隆	２段	北野			
３１	長房	藤盛　茂	５段			○	
３２		笹本梅吉	３段	川口			
３３		石賀正嗣	３級			○	
３４	川口	松崎幸雄	７段			○	
３５		松崎邦夫	６段	川口			
３６		廣島松治	５段	恩方			
３７		橋本岩雄	４段	川口			
３８		山本良宣	３段	元八			
３９		森田泰夫	３段	恩方			
４０		辻日出男	３段			○	